



のの山区議事務所が「都区政報告のつどい」

野党・市民との共同さらに



都議選のたたかいを振り返って報告する、そねはじめ都議(右)

日本共産党・のの山けん区議事務所は16日、赤羽会館で「都区政報告のつどい」を開催、地元住民ら50人が参加しました。(のの山けん)

つどいでは初めに、私から都議選の結果について報告をおこない、続いて候補者として選挙戦をたたかった、そねはじめ都議があいさつに立ちました。

その都議は、都議会自民党が歴史的惨敗を喫し、都民ファーストの会という新しい勢力が55議席を獲得するという条件の中で、日本共産党が2議席増となる19議席を獲得したことは貴重な前進だと強調、とりわけ北区で自民党幹事長に競り勝ったことは、全国を励ますものだとのべました。

同時にこの躍進は、自由党、新社会党からの推薦や、大型道路・再開発計画などのまち壊しに反対する住民との共同によって実現できたものだとのべ、今後も野党・市民との共同をさらに発展させていく決意を表明しました。

私からは、北区議会第2回定例会について報告。スライドを使って、子どもの貧困対策や北清掃工場建て替え問題、志茂・赤羽のまちづくりの課題などについて説明しました。



そね都議の話を聞く集会参加者



北区観光協会 オープニングセレモニー

この1月に設立された東京北区観光協会が13日、北とぴあでオープニングセレモニーを開催。区内で活躍する若手経営者らによるパネルディスカッション(写真)では、北区の魅力を発信する意欲的なとりくみが紹介されました。(のの山けん)

都政で、国政で **新しい政治の流れ**を



そねはじめ都議と北区議員団

日本共産党創立95周年となる7月15日、そねはじめ都議と北区議員団は赤羽駅西口で街頭宣伝。九州北部で大きな被害をもたらした集中豪雨災害の救援募金にもとりくみながら、そね都議が都議選結果を報告し、新しい都議会での公約実現の決意を訴えました。

池内さおり衆院議員とのの山区議

17日、池内さおり衆院議員は区内各地で街頭演説に。赤羽駅東口では、のの山けん区議とともに「安倍内閣の支持率が急落しています。共謀罪を強行し、加計疑惑から逃げ回っている首相に退陣を求め、野党共闘で新しい連合政権をつくりましょう」と訴えました。

4月に不慮の事故で亡くなった北区在住の作曲家、宮川つとむさんを偲ぶ会が17日、北とぴあで開かれました。

30人にも及ぶ歌手が宮川さんの作品を次々と歌い上げ、明るく朗らかだった故人を送るに相応しい会となりました。宮川さんとの出会いは9年前、同じく北区在住の作詞家、影山マキさん（故人）との共作で生まれた「どうすりゃいいのさ高齢者」という曲を通して。「私は85歳、現役よ！」と、高齢者の尊厳をかけて後期高齢者医療制度を痛烈に批判する作品に惚れ込み、私がCD普及を買って出たことがきっかけでした。

それからというものの、宮川さん、影山さんとはしばしば、食事やお酒、カラオケを楽しむ機会に恵まれました。それまで縁がなかった演歌に興味

立場を超えた心の交流

作曲家 宮川つとむさんを偲ぶ

を持つようになったのも、宮川さんの音楽づくりの現場に接してのことでした。

財界人としての経歴を持ち、安保・外交政策では激論を交わすこともありましたが、宮川さんは共産党の集いにもたびたび顔を出し、私のことを応援してくれました。

相次いで旅立たれた影山さん、宮川さん。心にポツカリと空いた穴は、お二人の残した素晴らしい作品で埋めるしありません。（のの山けん）



宮川つとむさんを偲ぶ会 =17日、北とぴあ